



新北小

学校
だより

トベラの木

葛城市立新庄北小学校
NO. 1
4月 令和5年4月27日
発行者 校長 杉村茂美

新年度スタート 「一歩前進」～踏み出す力～

4月7日（金）に40名の新1年生を迎え、全校児童221名で新年度が幕を開けました。

各学級では、個人写真や学級写真を撮ったり、一人ひとりがこの学年で頑張りたいことを考えたり、皆で学級目標を話し合ったりしています。それぞれが一学年ずつ進級した誇りを胸に、新しい教室で新しい仲間や先生と、気持ちも新たに一年をスタートさせています。

新しいことを始めるには、何事も最初の一步を踏み出さなければいけません。結果がすぐに出るとはかぎりませんが、そんな時は、少し時間をかけて続けることも大切です。子ども達は、昨年一年間で様々な力を育てていますので、昨年よりも今年、昨日よりも今日、今日よりも明日・・・というように、未来に向かって「一歩前進」する気持ちと行動力を伸ばしてほしいと願っています。

ご家庭におかれましても、是非、子どもたちの背中をそっと押していただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、今年度も学校だより「トベラの木」で、学校や子どもの様子、学校からの連絡などをお知らせしてまいります。この便利によって、学校のことを少しでも知っていただき、学校と保護者の皆様、地域の方々と共に、子どもたち一人一人の心に寄り添い、健やかな成長を目指して取組を進めていけたらと考えています。

ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。



新たな出会いを大切に～着任式・始業式（4月6日）～



4月6日、新庄北小学校に新しく5名の教職員が着任しました。児童への挨拶の後、続いて始業式を行いました。始業式では、一人一人が「一歩前進」するために、3つの「き」（元気・本気・勇氣）をもって、笑顔輝く学校を創っていきましょう！と話しました。

着任者の挨拶も校長の話も、おへそを朝礼台に

向けて話を聞く姿には感心しました。また、今年の担任の先生は誰かな？と担任発表を待つ子どもたちの顔も真剣そのものでした。



学校教育目標

「生きぬく力」をつけ、知・徳・体の調和のとれた
たくましい児童の育成

めざす児童像

- 自ら学び、考え、伝え合う子
- 互いを認め合い、自他を大切にする子
- 見通しをもって、最後までやりぬく子



今年度の教育目標です。児童一人ひとりが生き生きと活動する活力のある学校、家庭・地域と連携・協働し、安全で安心な学校を目指し、「チーム新庄北」で頑張っていきます。

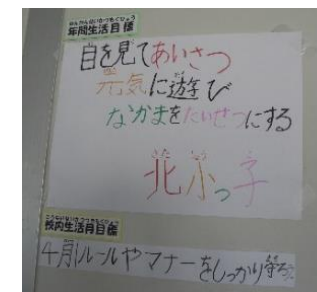
そして、児童一人ひとりのよさや可能性を最大限伸ばすことができるよう、教職員一同、精一杯努力してまいります。お子様のことで何かご心配等ありましたら、いつでもご相談ください。

「年間生活目標」を作成しました

目を見てあいさつ 元気に遊び
なかまを大切にする 北小っ子

児童一人ひとりが集団の一員として学校生活をよりよく（楽しく豊かなものに）していけるよう、今年度は年間生活目標を考えました。

早速、生活委員会の子どもたちが、皆の通る昇降口前に掲示してくれました。自分たちの手で、自分たちの学校を創っていかこうとする気持ちを頼もしく感じているところです。



トベラの木とは…

明治7年、新学制によって正田の神社に「智進舎」が建てられました。150年近くの歴史を経て、今の新庄北小学校があります。その「智進舎」に植えられていた木がトベラの木だそうです。

今は、正門横（東側）の植え込みと玄関正面坪庭に植えられています。

